

# 令和2年度入学者選抜試験 推薦入試問題

## 小 論 文 (120 分)

(保健福祉学部)

### 注 意

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子は、7 ページあります。
- 3 解答用紙は2枚あります。解答用紙には解答欄以外に受験番号欄と氏名欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入下さい。  
ただし、得点欄と整理番号欄は記入してはいけません。  
なお、解答は最初のひとマスを開けず、改行せずに続けて記入下さい。  
また、行末以外は句読点も1文字分として当て下さい。
- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせ下さい。
- 5 問題冊子の余白は下書き等に利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
- 6 下書き用紙は、下書き等に利用してもよろしい。
- 7 試験終了後、下書き用紙及び問題冊子は持ち帰り下さい。

**問題 1** 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。

著作権の観点から、公表していません。

著作権の観点から、公表していません。

著作権の観点から、公表していません。

(出典：松尾豊著『人工知能は人間を超えるか ディープラーニングの先にあるもの』より抜粋、株式会社 KADOKAWA 2015 年)

\*原典でつけられていた注釈番号の記述は省略した。

**設問 1** 人類にとっての人工知能の脅威とはどういうことなのか、著者の意見を事例も含め 100 字以内で説明しなさい。(40 点) (栄養学科 20 点)

**設問 2** 下線部の「人工知能の活用」について、人工知能の長所と短所を踏まえたうえで、あなたの考えを 300 字以内で記述しなさい。(60 点) (栄養学科 30 点)

(空白ページ)

**問題 2** 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。

著作権の観点から、公表していません。

著作権の観点から、公表していません。

## 著作権の観点から、公表していません。

(出典：細川英雄著『対話をデザインする—伝わるとはどういうことか』より抜粋、株式会社筑摩書房 2019 年)

**設問 1** 「対話」がどのように「おしゃべり」と異なるかを文中のことばを用いて 150 字以内で説明しなさい。(40 点) (栄養学科 20 点)

**設問 2** 下線部の「異なる立場の他者に納得してもらう」ためには何が必要ですか。あなたの日常生活での出来事や体験をもとに、筆者の考えをふまえて 400 字以内で記述しなさい。(60 点) (栄養学科 30 点)